

ユニック車の盗難に注意！

平成 23 年中、神奈川県内では約 1,800 台の自動車盗難に遭っていますが、この内、100 台強は「ユニック車」でした。

本年も組合員が、相模原市内と横浜市港南区内でユニック車を盗まれており、他人ごとではありません。

ユニック車が盗まれる理由として

トラッククレーンを盗難車の運搬に使用するため

海外へ搬出するため

などと言われています。

次の防犯措置を講じ、盗難に遭わないようにしましょう。

<自動車盗の防犯対策>

1. 駐車場の環境整備

車両の盗難例として、自動車盗難防止システム（イモビライザー等）を装着していない車両のキーシリンダーを破壊して盗まれているケースが多く、対策として、物理的に“盗みづらい環境”の整備が必要です。

(1) 出入口を必ず封鎖する。

(2) 封鎖が難しい駐車場の場合には、防犯カメラを設置するとともに、

駐車場内に、死角が生じないよう照明を設置する。

駐車場入口にセンサーを設置し、夜間の無人化対策を講じる。

赤色灯（人、車両を感知した際、赤色灯が点灯）

警告音（無断侵入を禁じる旨の自動音声）

スポット照明

等の機器が一斉に作動するようにセットする。

2. 駐車方法の工夫

(1) 出船状態で駐車しない。

(2) 自動車盗難防止用ハンドルロック（3,000 円前後）を全車両に装着する。

(3) 盗難に遭いやすい車両（ユニック車両等の狙われやすい車種）の周辺に、バリケード状に他の車両を駐車する。

3. 警備会社との警備契約（GPS 装着等）を行う。